

春闘



港区新橋 5-15-5
国鉄労働組合中央本部
☎03-5403-1640
発行人 菊池忠志
編集責任者 瀧口良二
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

◎表紙の写真
冬期間はなかなか見られない利尻富士とラッセル車(北海道・宗谷本線)天候が良すぎて雪を跳ねていないのが少し残念。
撮影 佐々木康成

新年 特集号



全組合員が組織拡大運動に奮闘しよう

中央執行委員長 菊池 忠志



組合員並びにご家族の皆さん、新年明けましておめでとうございませう。健やかな新春をお迎えのことからお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返れば、森友・加計学園問題での安倍首相らの「忖度」を巡る権力の私物化に対する国民の怒りが「安倍不信任」となって東京都知事選をはじめ地方選挙における自民党の敗

北につながりました。しかし、9月28日召集した特別国会冒頭に衆議院解散という暴挙に出た安倍首相によって10月10日公示、10月22日投票で第48回衆議院総選挙が施行されました。突然の解散で準備もままならない状況に置かれ、野党四党がめざした野党共闘も固まらないなかで選挙戦に入るといふ異例な状況で闘われました。当初の目標としていた「衆議院での与党勢力3分の2割れ」についても実現できませんでした。

東京都知事選や都議選の勢いで国政進出に色気を持った小池都知事が率いる希望の党が作られ、その流れに合流しようとする民進党が揺れ、「踏み絵」と「排除表明」にはじかれた側が立憲民主党を立ち上げるなど、野党共闘どころか野党分裂選挙となり、結果的に自民党の圧勝、与党勢力3分の2を超える議席を与えるものとなりました。

年明け早々に通常国会が召集され、憲法違反の安保関連法や共謀罪法と次々に強行成立させ「戦争の出来る国」へと暴走し続け、さらに憲法改正に執念を燃やす安倍首相の「意向」を組んで、9条への自衛隊の明記などを内容とした憲法改正法案が出されるのか、そして長時間労働の是正や経団連が求めている高度プロフェッショナル制度(残業代ゼロ)を盛り込んだ「働き方改革関連法」を安倍政権が「岩盤規制」と言って憚らない労働法制の改正案として出すのかなど、労働組合

はもとより国民全体の平和と安心が大きく変えられる危険性を含んだ情勢が作られています。そうした情勢の中で新たな年を迎えましたが、国鉄労働組合の運動課題は何ら変わるものではなく本年も継続しています。

その課題の一つは、組織強化・拡大の取り組みです。国鉄採用組合員の大量退職を目前に、喫緊の課題と確認し取り組んでいる組織拡大の成果は、「拡大」となっており表れていません。今年こそこれまでに以上に全組合員が奮闘し多くの国労加入を勝ち取らなくてはなりません。

そのためには、安全・安定輸送の確保に向けた課題です。東日本大震災から7年になろうとしています。三陸地方の路線及び原発事故による常磐線の復旧も困難さを持ちつつも進んでいます。

しかし、昨年に続き九州北部豪雨や台風被害による甚大な被害も各地で発生し、多くの利用者へ不便をかけるものとなりました。また過去の自然災害により寸断されたJR北海道内の被災線区は、発表された維持困難線路ともラップするなか、一部を除いて復旧作業すら始まっていないのが現状です。

災害を廃線の口実にするようなことは論外ですが、鉄道事業が担う社会的使命を果たすためにも黒字企業が災害補助等が出来ない「鉄道道整備法」の適応条件の緩和や公的補助の拡充など自然災害等に対する国の支援強化並びに法の改正も重要な課題です。

また、公表された各社の中間決算では株式市場に上場した3つのJR会社とJR貨物は順調に業績を伸ばし、JR北海道とJR四国を除いて過去最高を更新し続けています。

インバウンドが今年度末に2800万人を超えるという見込みで、2020年の東京オリンピック、パラリンピックの開催の年には4000万人をめざすとされているなかで、東京や京都などにインバウンドが集中する状況を全国の観光地に誘致拡大させる努力もされていますが、そうした観光や日常の通勤通学などの利用者の安全・安心の確保に向け日夜努力している現場労働者は、要員不足の解消がされないばかりか、若手労働者の技術継承が進まず、そのことに起因するインシデントや大規模輸送障害が後を絶たない状況となっています。

急速に進む世代交代に対応する技術継承のための対処と適切な要員確保が安全・安定輸送の観点からも重要な課題となっており、三つには、情勢でも触れましたが、労働法制改悪阻止の闘いについてです。

インバウンドが今年度末に2800万人を超えるという見込みで、2020年の東京オリンピック、パラリンピックの開催の年には4000万人をめざすとされているなかで、東京や京都などにインバウンドが集中する状況を全国の観光地に誘致拡大させる努力もされていますが、そうした観光や日常の通勤通学などの利用者の安全・安心の確保に向け日夜努力している現場労働者は、要員不足の解消がされないばかりか、若手労働者の技術継承が進まず、そのことに起因するインシデントや大規模輸送障害が後を絶たない状況となっています。

急速に進む世代交代に対応する技術継承のための対処と適切な要員確保が安全・安定輸送の観点からも重要な課題となっており、三つには、情勢でも触れましたが、労働法制改悪阻止の闘いについてです。

ル制度(残業代ゼロ法)は、専門職の年収1074万円超の労働者を対象とするとしていますが、経団連が執拗に求めてきた内容であり、安倍政権の政策としての世界で一番活動しやすい国づくりの重要な位置づけになっています。

振り返れば、労働者派遣法も1986年の施行時には、専門職13業種に限定した法律であったものが、16業種、26業種と拡大され、現在では業種の分類すらなくされ、2000万人もの非正規労働者が雇用不安と超低賃金での労働を強いられています。

長時間労働の是正や同一労働同一賃金などを「働き方改革関連法」として審議し立法化しようとしています。また、経団連が求める残業代ゼロの適応対象は年収400万円以上であり、立法化されれば規制緩和により適応対象が拡大され、年収基準が引き下げられるのは明らかです。その意味では言葉に感わされず立法化反対の闘いを全労働者の問題と位置づけ取り組んでいかなければなりません。

その他にも2018春闘や労働条件改善などの重要な闘争課題、憲法改正反対や原発廃止などの政治課題も沢山ありますが、国鉄労働組合に結集する組合員、家族の団結強化と共闘の仲間との連帯を闘いを前進させていきたいと思います。

結びに、2018年という年が組合員そして家族の皆さまにとって実り多い年となりますことを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

2018年 元旦

第5回 国労フクシマ交流・視察学習会

原発事故から6年8カ月

第5回国労フクシマ交流・視察学習会が11月25、26日の2日間に渡って行われ、1日目は原発立地の各地本を中心に全国から40名が参加して現地視察を行い、2日目は交流学習会が開催された。

初日は、福島駅からJRバスにて移動、双葉町に入ると帰還困難区域ということもあり、携帯の線量計のアラームが鳴りっぱなしとなり、「自転車・バイク通行禁止、自動車は通過可」という看板が立ち見られた。

集落があっても立ち入りすることもできないため、家中はイノシシに荒らされ廃墟になっていると地元組合員から説明があった。



交流・学習会で報告する高校生幸和大使の高橋伶奈さん

夕食懇親会が行われた。

2日目は9時から交流学習会1部が仙台地本原子書記長の司会で行われ、本部・松川書記長の挨拶の後、水戸地本・泉執行委員から「常磐線復旧をはじめとした現状と課題」を、猪狩執行委員から「被災後の支部運動と学習」について報告がされた。

第27回 全労協女性委員会総会

闘う女たち！大集合

第27回全労協女性委員会総会が、11月18日に東京・飯田橋のSKプラザ会議室において、多くの争議や裁判闘争を闘っている仲間が集まり開催された。

総会は、国労本部加藤女性部長の司会で開会した。

第1部は、NHKの「あさイチ」で取り上げられた全国一般三多摩労組の渡辺さんのシフト問題やダブルワークをせざるを得ない非正規の現状と都労委勝利報告のDVDを上映し、現在起こっている問題点を共有しあった。

第2部は、柚木女性委員会代表幹事が総会議案を提起し、各組合・当該争議を闘っている仲間から報告がされた。フジビ分会は偽装倒産とス

について講演があった。

高校生幸和大使の高橋伶奈さんからは、自身の国際交流などの報告がされた。

その後、原発立地関係工リーア・地本7カ所から報告を受け、本部・佐藤総務財政部長が「震災・原発事故から6年8カ月が経過し、政府は2019年度末予定の常磐線全線開通を復興のシンボルとしようとしている。原発事故を風化させない取り組みを」とまとめた。

最後に福島県支部・小檜山委員長からの閉会あいさつの後、本部・菊池委員長からの閉会あいさつがされた。

裁判「マタハラ裁判」の原告

からの報告など、三多摩労組からは、低賃金・長時間労働の非正規労働者の闘いが報告された。議案は拍手で了承され、国労本部加藤女性部長を

含めて、幹事は全員再任された。第3部は交流会で、さらに元気のある発言が続き、連携を強め、共に闘う決意を確認することができた。

「憲法学者攻撃は戦争への道」

水島朝穂早稲田大教授／立憲フォーラムの集いで警鐘

「戦前の、軍部批判ができたくなつた国会(と同じもの)が今、国会中継で確認できる」

早稲田大学法学部の水島朝穂教授が12月6日、衆院議員会館で開かれた集いで講演。与党の質問時間を増やした結果、形骸化が進む国会審議の現状に危機感を持つよう呼びかけた。

集いは旧民進党議員らを中心とする超党派の議員が集う立憲フォーラム(代表近藤昭一衆院議員)と立憲民主党)な

どが主催した。

水島教授は「予算委員会の質問は、野党第一党が一番にやるのが当たり前だったが、今回は自民党議員から。安倍政権への批判はなく、ネットウヨ的なくだらない論議でマスコミ批判などを行った」と指摘。昭和15年、共産党以外の全政党が解党して作られた大政翼賛会の下、国会は軍部批判ができなくなり、対米戦争へと突き進んだが、当時の国会と同様の状況が生まれつつあ

ることに警鐘を鳴らした。

戦前の代表的な憲法学者「天皇機関説」とその代表的な論者だった憲法学者の美濃部達吉(貴族院議員)が、軍部や右翼から攻撃された天皇機関説事件について水島教授は、大日本帝国憲法にも存在していた立憲主義がこの攻撃によって破壊され、軍部独走を許したと指摘。政府・自民党が集団的自衛権の憲法解釈などをめぐり憲法学者をたびたび批判していることと絡めながら、「権力が憲法を変えようとするとき、邪魔になるのが憲法学者。憲法学者が狙われた後、戦争を行える体制が作られる」と強い危機感を表明した。

ベア60000円要求へ／私鉄総連の職場討議案

私鉄総連は12月5日、大阪市で中央委員会を開き、18春

開の職場討議案を決めた。賃上げは定期昇給2%プラスベア6千円を提起。今後、各職場での論議を踏まえて2月1日の拡大中央委で正式決定する。

ベア6千円要求の内訳は物価上昇分0.2%(4~9月期)に生活向上分2%を加えたもの。16春闘と17春闘のベア5600円より400円高く設定した。

このほか、高卒18歳初任給として月額15万7100円、高卒19歳・勤続1年の最低引き上げ額基準として9500円(定昇込み)、バス運転士25歳初任基本給として17万6千円を掲げている。

非正規雇用労働者については、時間給で「60円以上」を基本とする。ヤマ場の戦術は、3月上旬の中央闘争委員会で決定する予定だ。「連合通信」

2018 春闘展望

—社会の隅々に賃上げを 国民合意広げる春闘に

基調にある」と言われている。賃下げになつてしまふ計算です。経済の状況を示す実質国内総生産(GDP)の成長率は7四半期連続のプラス。世界経済の回復を背景にした輸出の伸びが要因と指摘されています。

外需が経済を押し上げる一方で、GDPの6割を占める消費が増えず、肝心の内需低迷から抜け出せていません。実際の購買力を示す実質賃金は低下したまま。デフレ脱却への足かせとなっています。さらに今年には物価が上昇局面に入ると見込まれます。2017春闘では、定期昇給相当分を除いたベースアップの平均は0.3%程度。この程度のベアだと、実質

「連合通信」



第27回全労協女性委員会で選出された新役員



保線乗務員の乗り継ぎ



塩狩峠を駆け上がる



『東恵橋』から撮影したラッセル車

北の鉄路を守るラッセル



智恵文～智北間 撮影しやすい日中帯の常排のため人気が高い

佐々木康成

Yasunari Sasaki

プロフィール●1961年北海道名寄市生まれ。小学校5年より蒸気機関車を撮影。1981年に国鉄音威子府保線支区に入職。JR北海道移行後、現在は名寄保線管理室で勤務。蒸気機関車が大好きで実家にはD51の動輪も展示している。

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~c55/index.html>



動輪の除幕式の一コマ



南稚内から名寄 名寄から旭川とロングランで雪の鉄路を毎日除雪する



多くの撮影者が集まる宗谷本線 日進～北星間『東恵橋』

まっぴり特報 2018 小菅りや子



2018年の出来事 改憲の国民投票も?

◇憲法

昨年5月に安倍首相が宣言した「改憲への動きが具体化しそうです。自民党が通常国会(1月)に改憲案を提出すれば、改憲賛成派が衆参で3分の2を占める下、発議される可能性は大。発議後60〜180日での国民投票が決められているので、年内にも改憲の賛否を問う国民投票が行われることに。72年間続いた平和主義を守るのか、戦争国家に逆行するのが問われる一大政治決戦です。

◇安倍政治の行方

安倍首相の2期目の自民党総裁任期は9月まで。3選を目指すのは間違いなくとみられています。うそごまかしの政治、えこひいき政治をさらに3年間続けるのか? 自民党の良心も問われています。

◇天皇退位で最後の平成?

生前退位を表明した現天皇。昨年6月に成立した特例法にのっとり、退位が決まりましたが、その時期は今年12月か来年の3月か... いずれにしても、残り少ない「平成」

◇スポーツ

韓国で初の冬季五輪となる平昌冬季五輪が2月9〜25日に開催されます。新種目の一つスノーボード「ビッグエア」は、40メートル近くジャンプしている間に、回転・ひねり技を行う迫力満点の競技で、日本選手のメダルの可能性も。男女混合の種目がアルペンスキーとカーリングに追加されるのも話題です。

◇宇宙開発

米グループがスポンサーの民間月面探査金レースがよいよ大詰め。日本の民間チーム「HAKUTO」の月面探査機は1月末ごろに月面着陸の予定です。レースの課題は「月面での探査機の移動」「動画・静止画の送信」など。無事クリアできるか大注目です。このほか米NASAが火星探査機を5月に発射。宇宙航空研究開発機構(JAXA)も欧州宇宙機関と共同開発し

た水星探査機を10月に打ち上げます。今年半ばごろには小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に到着する予定です。今年半ばごろには小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に到着する予定です。

縁起のいいことフルコース 運と福を呼び込むお正月に

「今年こそは良い年に」と誰もが願うお正月。まずは縁起の良いお正月の風習で幸せを呼び込んでみませんか。



◎松飾りは神様の目印

松飾りは新しい年神様がやってくる目印。これは飾るしかないですよ! 門や玄関に飾るのが正式ですが、室内用のかわいいミニ門松でも神様は許してくれるかも。しめ縄には魔よけの力があるとされているので、これも忘れずに。

◎餅嫌いの人も鏡餅

神様が宿る場所が鏡餅。お餅は嫌いという人も、鏡餅だけは外せません。丸い形は円満を表し、家族の幸せを願う一年の始まりには、欠かせないアイテムです。一緒に添える橙(だいたい) やゆずり葉には家が代々続く願い、裏白というシダの葉には清い心への願いが込められています。

◎お雑煮で幸せな一年に

邪気を払い若返りの力がある元日早朝の水=若水と、神様が宿る餅で作るのがお雑煮。年の初めに食べれば、若さと神様の力が手に入る? わけですから、食べない手はありません。

一緒に飲みたいのがお屠蘇(とそ)。数種類の生薬をお酒やみりんに浸して作ります。飲めば一年の邪気を払うとされます。体を温めるので

寒い季節にはぴったり。でも「お屠蘇気分」で車を運転すれば、「地獄」行きの可能性も。

◎願いを込めたおせち

正月といえば、おせち料理。単にお祝いや保存のきく正月料理ではなく、本来は季節の節目の神様に供える食べ物のことなんです。

黒豆にはまめ(勤勉や健康の意味)に働き暮らせるようにとの思い、数の子は子孫繁栄、栗きんとんは黄金のような豊かさ、昆布巻きは喜び、レンコンは将来の見通し、エビには長寿などの願いが込められていて、まさに縁起物のデパート。一口でも食べれば、一年の幸せが保証されたようなもの!?

◎正月は幸せ呼ぶイベント

お年玉は、古くは「年魂(としま)」と書き、神様の霊力が宿っているとされる餅を配る風習。いわば子どもや年下の人への「幸せのおすそわけ」です。その後、お金を包んだものをお年玉と呼ぶようになりました。初詣や初夢なども幸運や福を呼ぶ習慣です。正月行事は本来、神様を迎えるためのものですが、現代風に「幸せを呼び込むためのイベント」と考えると、楽しみがグッと増します。

千支の話 今年「戌戌」 初詣は恵方=南南東に!?

千支(えと)は十干(じっかん)と十二支で作られる暦のこと。起源は中国です。組み合わせは全部で60あり、時間や方角を表したり、占いにも使われることがあります。今年「戌戌」年ですが、実は十干が省略されていて、正しくは戌戌(つちのえいぬ)。千支の35番目にあたります。

「猫年」がある国も

十二支が、子(ねずみ)丑(うし)寅(とら)で始まり、亥(いのしし)で終わるのは知られていますが、それぞれの動物は後から語呂合わせで当てられたもの。千支が伝わった各

生活に隠れた十干

ちよつとなじみの薄い十干ですが、実は身近に。「甲乙つ

た水星探査機を10月に打ち上げます。今年半ばごろには小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に到着する予定です。今年半ばごろには小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」に到着する予定です。

け難い」の「甲乙」が十干の最初の二つ。契約書などに「以下甲」「以下乙」とあるのも同じです。「甲乙」の後は「丙丁(へいてい)」と続きますが、戦前は学校の成績などを表す際にも使われました。

還暦も千支がらみ

千支の最初「甲」と「子」を組み合わせた「甲子(きのえね)」ですが、どこかで見たことありませんか? そうです。阪神タイガースの本拠地「甲子園球場」。「甲子」の年に球場が完成したことを記念して名付けられました。



国ごとに違って、うさぎや虎が猫に変わったり、虎がヒョウになったりしている国もあります。

ちよつとなじみの薄い十干ですが、実は身近に。「甲乙つ

なるほど納得ですね。

ちなみに、その年の神様がいる場所とされる恵方。初詣に行く際には恵方にある神社に行くといいとされますが、この恵方はその年の十干によって決まります。「戌」の今年、南南東です。

謹賀新年

国鉄労働組合 本部役員一同

